



# まもルボ

Vol.9  
2022.8月

## 『京都市は財政破綻しません』

「京都市が財政破綻するのではないか」といった心配の声がありますが、京都市は、令和4年度予算において財政健全化への道のりを示しており、行財政改革計画を着実に実行することにより、確実に財政健全化を達成することができます。私も行財政改革計画の遂行に向けて、引き続き議会で、責任のある議論を行なっていきます。

### ●財政健全化の令和4年度予算での到達点と今後の展望

ア

令和3年度、4年度は、リーマンショック並みと危惧された市税収入の減少を回避できる見込みに加え、令和4年度予算については、行財政改革計画の策定後、最初に編成した予算として、歳出を計画で定めた上限以下に抑制したことで、計画の試算を上回って収支を改善することができました。

イ

令和5～7年度においても行財政改革計画を着実に達成することにより、令和7年度末の公債償還基準を維持。公債償還基金枯渢の危機を確実に回避します。

ウ

行財政改革計画の取組は、令和8年度以降にも効果が表れ、投資

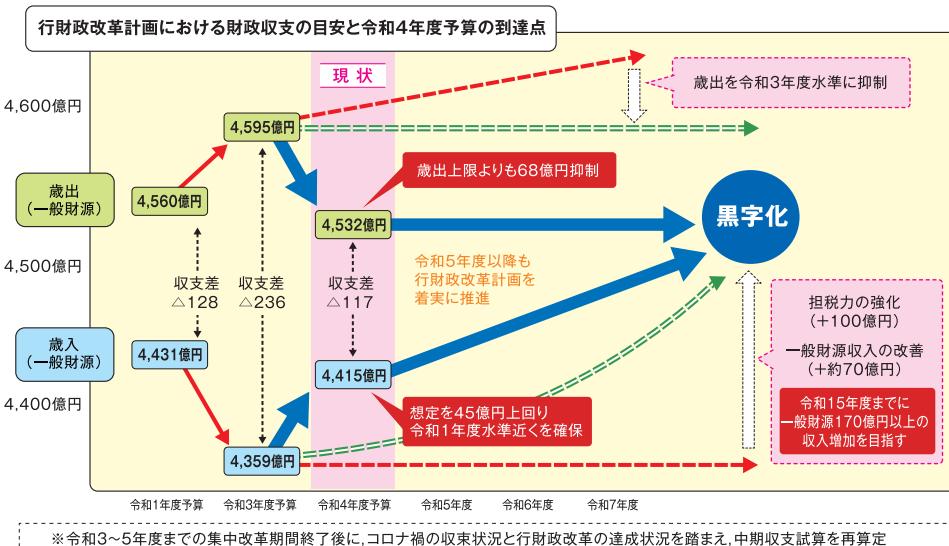
**力** まずは行財政改革計画の着実な達成に全力を挙げ、令和5年度まで

**才** の固定費を減少させるとともに、都市の成長戦略を推進し、一般財源収入をさらに更に、100億円増加させることにより、令和8年度以降も続く、社会福祉関連経費の増加に対応したうえで、収支不足を圧縮します。

**工** 行財政改革計画に基づき、令和7年度時点で見込まれる、他都市平均との乖離90億円を令和15年度までに解消します。

平均400億円に抑制、令和8年度以降も継続することで、高止まりが続いている公債費を令和7年度から15年度にかけて100億円減少させます。

踏まえ、中期収支試算の再算定を行い、財政運営の目標を改めて設定し、令和15年度までとしている公債償還基金の、計画外の取崩しからの脱却について、時期を前倒します。



- 京都市が令和2年12月に示した歳出歳入予測財政破綻の危機
- 京都市が定める行財政改革計画※歳出上限ラインを約4,600億円に設定
- 自民党議員団の提言等により実現した令和4年度予算、これからも強い意志を持って黒字化を目指す。

歳出歳入の収支差マイナスからの一刻も早い脱却を目指し、持続可能な京都市財政の確立へ。

### 森田 守 プロフィール

昭和50年 6月15日生まれ  
平成6年 同志社香里高等学校卒業  
平成10年 同志社大学法學部法律学科卒業

平成10年 (株)セブン-イレブン・ジャパン  
平成16年 参議院議員二之湯智秘書  
平成27年 京都市会議員初当選

平成31年 京都市会議員2期目  
家族構成 妻、娘3人、息子2人、猫4匹  
趣味 スキー、アウトドア、マラソン



## ●市バス・地下鉄の経営健全化

**Q 森田守** 今市会において、経営ビジョン改訂版が示され、市バスで8%程度、地下鉄で7%程度の運賃改定が提案されていますが、

安易な運賃値上げは本末転倒であり、それまでの間、ありゆる経営努力を尽くす必要があります。今後、公共の福祉である市バス・地下鉄の経営を維持するために、事業の舵取りを担う市長の決意をお聞きします。

**A 門川市長** 交通局では、これまでの度重なる健全化の取組により、既に人件費や経費を大幅に削減してきているところであります。今一步踏み込んだ経営健全化策を断行しますが、安定経営実現の道筋を立てるためには運賃改定を見込まざるを得ません。経営状況を市民の皆様にお伝えし、御理解を頂きながら共にこの危機を乗り越えていく決意です。



## ●太秦小学校東側の歩道整備

**Q 森田守(要望)**

太秦小学校の東側の太秦上桂線では、太秦小学校の体育館新築工事に合わせて、平成30年度に歩道が整備されました。北端部分は、約30mの区間において歩道が途切れています。様々な方策を検討し、歩道の延長整備が実現すれば、より安心・安全に通行していただけると思います。様々な課題を解消していく必要がありますが、将来的な歩道の延長整備の実現に向けての検討を要望します。



義な政策を提  
言してくれるこ  
とを期待する  
と共に、尊敬され  
る市会議員にな  
ることを願つ  
ています。

**勇退**  
**今期限りで引退**



**一之湯智参議院議員**

7月25日をもって、一之湯智参議院議員が政界を引退されました。昭和62年の初当選以来、35年の長きにわたり京都市会議員5期、参議院議員3期務められ、先の参議院選挙においては、吉井あきら前京都市会議員に議席をしつかりと引き継がれました。一之湯先生の秘書として11年間学んだことを糧にこれからも京都市のために努力してまいります。

### 一之湯智氏コメント

森田君が京都市会に初当選してから、7年時間が経ちました。生来、真面目な森田君は、京都市の課題にしっかりと取り組み、今や京都市の政策通として、各方面から高い評価を受けています。一方、住民に最も身近な基礎的自治体の市会議員として、住民からの要望に、気軽に相談に乗り、頼りになる議員として、皆さんから大変信頼されています。少子高齢化によって、今後、京都市の財政は厳しい状況が予想されます。その中にあって、京都市の活力をどう維持していくのか、市会議員の力量が問われます。森田君が、京都市の発展のために、市当局に積極的に有意

# みなさまの“声”が市政に活かされています!



## 3歳児健康診査における屈折検査の導入決定!!

3歳児健診における視力検査は家庭に委ねられているため、弱視の発見率が低いことが課題となっていました。弱視というのは、3歳児健診で弱視を早期発見でき、治療を開始すれば、十分な視力が獲得できると言われており、機器を使用した屈折検査を導入すれば、この問題を非常に簡単に解消できるということを、昨年の9月市会、また今年2月の代表質疑で指摘しました。そして、7月1日から3歳児健診における屈折検査の導入が実現しました。

京都市では、令和4年7月1日から、3歳児健康診査において、機器を用いた「屈折検査」を導入し、弱視の早期発見・早期治療につなげていきます。

毎年夏に開催しておりました「納涼の夕べ」は、昨年に引き続き中止いたします。

**未来を** 京都と子どもたちの明るい  
Morita Mamoru Reportage  
**まもルポ**  
是非、みなさまの“声”をお聞かせください!

編集・発行

京都市会議員 森田 守 事務所

〒615-0027 京都市右京区西院西三蔵町9-1 Connect西院2F

(阪急西院駅(西改札口)より徒歩約2分)

TEL&FAX: 075-313-0023

E-mail:moritamamoru.kyoto@icloud.com

<https://www.moritamamoru.kyoto>

